

自分の前にある2本の線は…？

しつとりと潤う6月。落ち着いた生活の中で「自分を高める心」と「自分を律する心」を育てましょう。

(全校朝会でのお話から)

○必ず越えなければならない線がある！

大リーグのイチロー選手が、野球の神様ベーブルースの安打記録を抜きました。大相撲夏場所では、照ノ富士が優勝して大関に昇進しました。しかし、それは一朝一夕で達成できるものではありません。日々のこつこつとした努力があつてのことなのです。少し頑張ればできる小さな目標をしっかりと定め、それを一歩ずつ一歩ずつ決してあきらめることなく乗り越えてきたからこそ、大きな目標を達成することができたのです。

私たちも、それに学ばなければなりません。日々学習や運動をしている中で、ちょっとした壁に当たることがあります。「分からない」「できない」と思うこともあるでしょう。「しんどい」「面倒くさい」と思うこともあるでしょう。だけど、そこで歩みを止めてしまうと、その先にはもう進めなくなります。いつまで経ってもゴールにたどり着けなくなってしまいます。楽な方へ楽な方へと逃げるのは簡単です。でもそれでは、人間としての成長が止まってしまうと思いませんか。

今、目の前に見えている線は、大きな目標を達成するためには「必ず乗り越えなければならない線」です。しかしそれは、「ちょっと頑張れば乗り越えることができる線」でもあるのです。ほんの少しの頑張りが自分を高めることになると信じ、楽な方へと流されそうになる自分に負けず、その線をしっかりと乗り越えてほしいと思います。



○決して越えてはならない線がある！

新聞やテレビで毎日目にしたり耳にしたりするニュースは、「えっ？何で？」と思うような悲惨な事件ばかり。もっと明るいニュースや心温まるようなニュースはないのかなといつも思ってしまいます。犯罪に至るまでに、どうして止めることができなかつたのでしょうか。「一線を越える」という言葉があります。その線を越えてしまうとどんどんエスカレートして、もうブレーキがきかなくなってしまいます。元に戻ろうとしてももう戻れなくなってしまうのです。人には、決して越えてはならない線があるということを自覚しなければいけません。

学校でもそうです。「ちょっとぐらい」とか「〇〇ちゃんもしているから」に潜む危険を自覚しなければいけません。エスカレートして大きなけがをしたり、大きなトラブルになったりする前に、「これは危険！」「これはだめ！」と自分で自分にブレーキをかけることが必要です。

親や教師に教えてもらいながらその線を自覚していく低学年から、自分自身でその線を自覚する高学年へ。小学校時代は、「決して越えてはならない線」＝「自律の心」をしっかりと身に付けなければならない時期でもあるのです。



「必ず越えなければならない線」と「決して越えてはならない線」 この2本の線を忘れずに！

※子どもたちの学校での様子等をブログで紹介しています。西吉野小学校HPを開いて学校ニュースをご覧ください。スマホ等でも見ることができます。